



野比中だより

絆 きずな
—響き合いを大切に—

横須賀市立野比中学校

〒239-0841

横須賀市野比4-4-1

tel:046-849-3318

Fax:046-849-3791



梅の花がさきはじめました！

春が来た？

最近、とっても暖かい日が続いています。

2月14日から神奈川県公立高等学校入学
者選抜の学力検査が実施されました。なんと
なくですけれども、この日は毎年寒いイメ
ージがあります。私が中学生の時は雪が降った
のを今でも覚えているほどです。今年はとて
も暖かで、昼間はコートがいらぬほどでし
た。このままでは、桜が咲いてしまいそうだ
と思ったほどです。

ふと職員室横の梅の木を見てみたら、わず
かではありますが花が咲いているではありま
せんか。気温の上下はありつつも、季節は少
しずつ春に向かっているのですね。

花は咲く

「花は咲く」というフレーズで私が思い出す
のは、NHK による東日本大震災の被災地、
そして被災者の方々の復興支援のために制
作されたチャリティーソング「花は咲く」です。

作詞の岩井俊二さん、作曲の菅野よう子さ
んは二人とも被災地の出身で、歌唱もサント

ウィッチマンのお二人をはじめ、被災地の出
身やゆかりの深い著名人が多く関わってい
ます。

東日本大震災は、平成23年(2011年)3月
11日に発生した、宮城県三陸沖を震源とす
る地震です。発生時点において日本周辺にお
ける観測史上最大の地震とされています。ち
なみに、アメリカのある地質調査所の情報に
よれば1900年以降、世界でも4番目の規模
の地震でした。

この歌では、冬から春へと季節が流れてい
く、時の流れが描かれています。震災の起き
た3月はまさに冬から春へ移り変わるころで
す。そして春は命が芽吹く季節です。雪深い
東北地方では、すべてを凍り付かせる冬から、
新たな命が生まれる春へ。真っ白な色のな
い世界から、緑や花の色があふれる世界へと
様変わりしようとしています。その様子を、東
北地方の復興のイメージにかぶせながら、歌
の世界を表現しています。復興を願う人びと
の想いがギュッと詰まっている歌の一つが
「花は咲く」なのかと感じています。

季節は廻ります。つらい時期を超えて、やが
て人々の想いが解放される春が訪れようと
しています。学校に咲く梅の花一輪、3年生
が進路に向けて頑張っています。震災といえ
ば、その昔の阪神淡路大震災が1月17日でし
たが、今回の能登半島の震災が1月1日。冬に
多いと感じてしまう自分がいます。能登半島
のみなさんの生活について、一日も早い復興
を願わずにはられません。

足場がはずれつつあります



きれいになった A 棟のようす

8月末に始まった野比中学校の外壁工事ですが、ようやく工事の足場が解体され始めました。足場の内側からは、塗装がきれいになったばかりの校舎が見られるようになりました。思えば、周りを囲まれて、なんとなく薄暗い世界でしたが、今では「教室ってこんなに明るかったんだっけ？」と思わされるようになりました。ろうかも明るくなり、ちょっと驚いています。

業者の方に伺ったところ、外壁は24時間、ずーっと外気にさらされ、特に昼間の時間帯は太陽の光に照らされているため、どんどん色が劣化していくのだそうです。今はなんとなく光沢がある色なのですが、少しずつくすんでいくのだそうです。窓枠等の部材と部材の隙間もひとつずつ手作業で埋めたくうえて、塗装がされているのだそうです。今が一番きれいな状態ですので、この状態をしっかりと目に焼き付けておいてくださいとのことでした。

とはいえ、工事は終わったわけではありません。最後の仕上げ段階です。足場が完全に解体され、完全に敷地の整備がされるまでが工事期間です。作業は卒業式後も続く見込みです。終了までは、大きなトラックや作業の車の出入りが続きます。登下校時やグラウンドへの移動の時に、作業をしている方々の迷惑にならないように、行動してください。

あなたが好き

MTT の方々が来校



思わず腕を組んでしまうほど

2月8日、2年生では横須賀商工会議所 MTT の方々をなんと22名もお招きして、グループディスカッションを実施しました。

今年度、総合的な学習の時間に行ってきたキャリア教育の総仕上げとして、これまで職場体験での経験、企業訪問やポスターセッションで学んだことも含み、1年間学んできた「働くとは？」について、一人ひとりが発表を行いました。



熱心な話し合い

ディスカッション後、MTT の方々からお話を伺う機会があったのですが、どのグループも、一人ひとりがよく考えて自分のことを伝えられていて、とても楽しかったとのこと。体験を通じて、自分の言葉で語ることの大切さを、私も改めて認識させられました！

私が好き 横須賀が好き と誇れる人づくり